

地域アンケート結果（地域全体）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	坂下中、藤山台中、高森台中、石尾台中、岩成台中学校区の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	436人

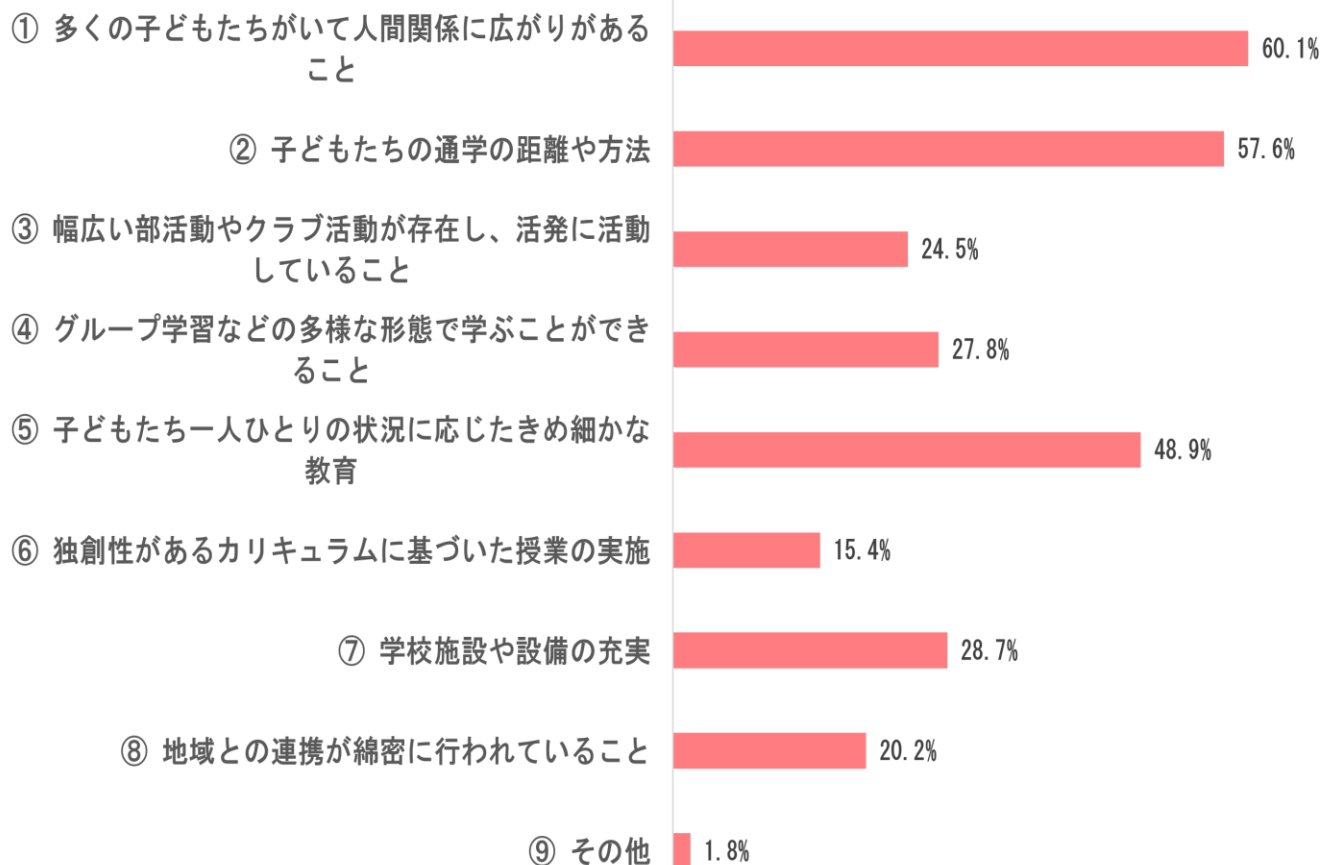
1	お住まいの小中学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

中学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
坂下	102人	0人	3人	18人	9人	30人	19人	23人	はい：17人 いいえ：85人
藤山台	46人	1人	0人	10人	9人	9人	9人	8人	はい：10人 いいえ：36人
高森台	94人	1人	2人	17人	15人	16人	24人	19人	はい：18人 いいえ：76人
石尾台	127人	0人	6人	10人	13人	34人	30人	34人	はい：16人 いいえ：111人
岩成台	67人	1人	2人	10人	11人	18人	11人	14人	はい：12人 いいえ：55人
計	436人	3人	13人	65人	57人	107人	93人	98人	はい：73人 いいえ：363人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」、「② 子どもたちの通学の距離や方法」、「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」の順で選ばれています。



「⑨ その他」の主な回答

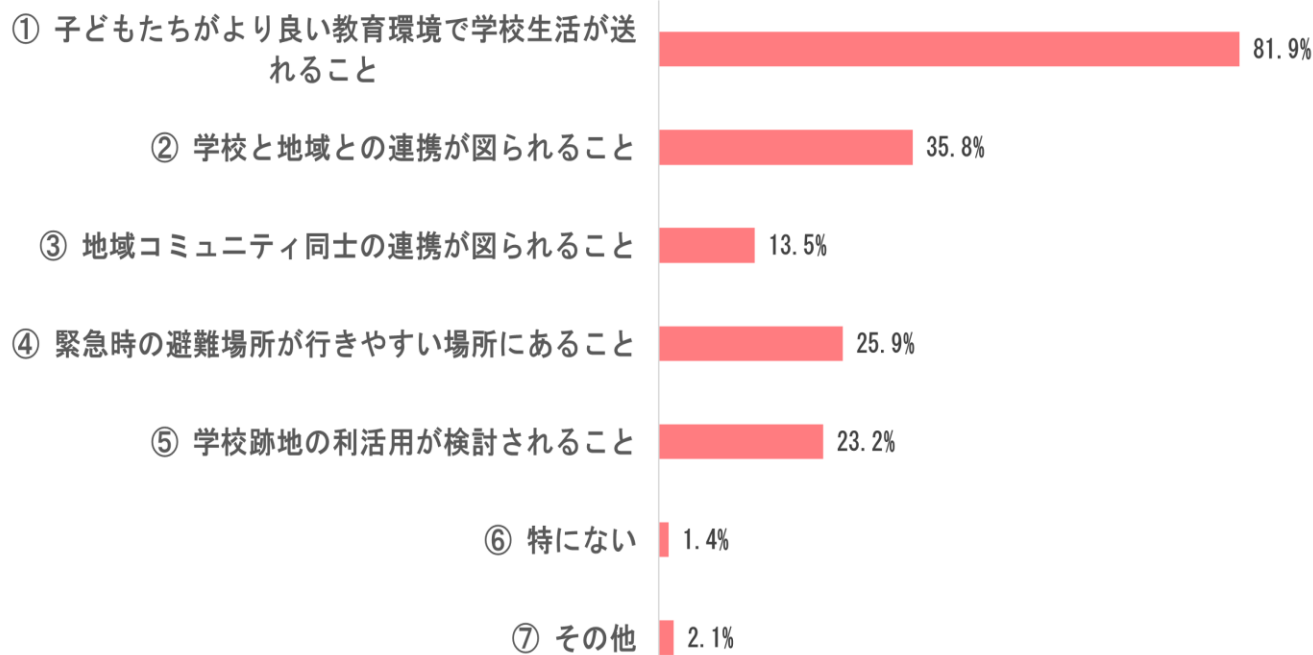
- ・あらゆる安全
- ・一人一人の子どもの個性を認め、子どもも教員も生き生きとした教育活動の場であること。
- ・子どもたちが、近くの学校に、毎日楽しく通えること。ルールや時間で縛るのではなく、子どもたちの考えを、自由度を、尊重する学校であること。不登校の増加から学校のあり方を見直す時。低学年は通知表の評価も必要かどうか考え直すとき。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」、「② 学校と地域との連携が図られること」、「④ 緊急時の避難場所が行きやすい場所にあること」の順で選ばれています。

回答した方の多くが、子どもたちのためのより良い教育環境が重要と考えています。



「⑦ その他」の主な回答

- ・子どもにとっての一番身近な人的環境である教師が専門性、教育愛豊かな人であること。
- ・通学時間を考慮にいていただきたい。統合される場合はどちらかに吸収されることになるから吸収された方は通学時間が掛かり過ぎる心配がある。
- ・その土地々々の歴史的な流れがある。子どもの数だけで線を引くのではなく、その地域のいじめ不登校などの実情、今まさにその地域で登校している方々のご意見を一番に取り上げるべき！

73.2%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

15.1%の方が「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」と考えています。

学校別に見ると、「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」の合計の割合が高い学校は、神屋小（89.5%）、藤山台小（86.9%）、坂下小（80.4%）、中央台小（75.7%）、東高森台小（75.0%）です。

「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」の合計の割合が高い学校は、玉川小（32.4%）、西尾小（27.8%）、岩成台西小（24.2%）、押沢台小（22.5%）、石尾台小（20.0%）です。

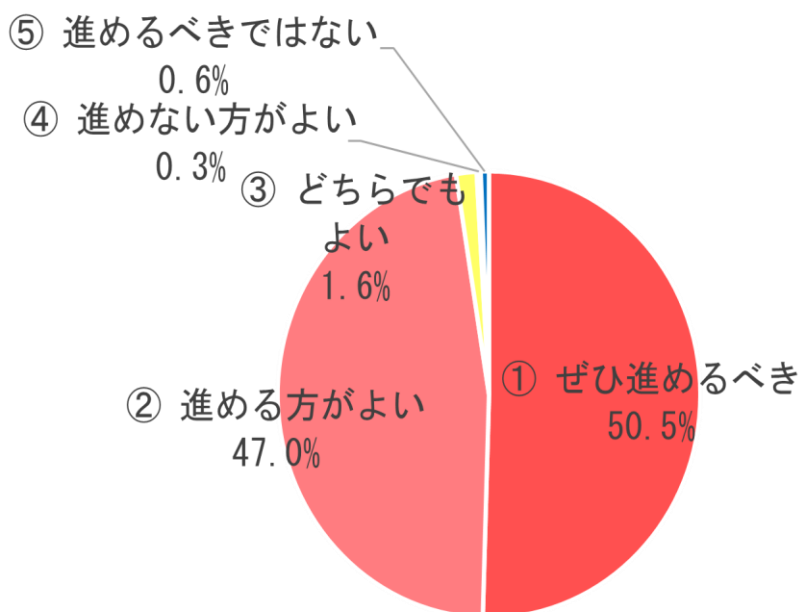


6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の97.5%が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

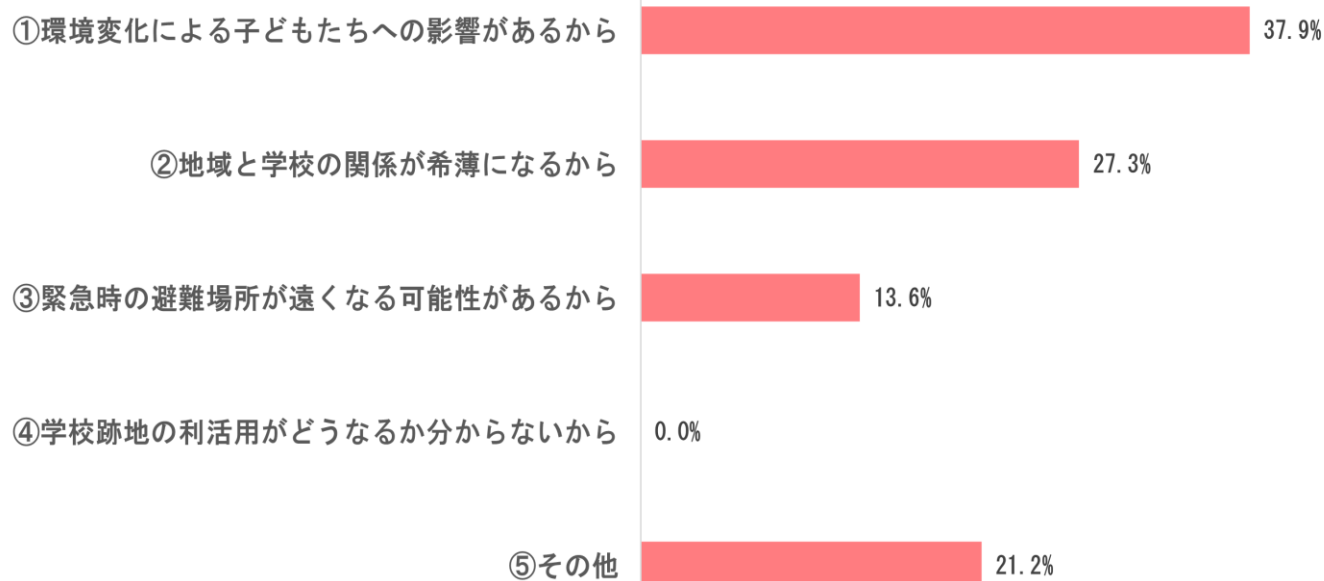
6の質問で①又は②を選んだ方のうち、「④ 進めない方がよい」を選んだ方は1人で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は2人です。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きます。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方の多くが「① 環境変化による子どもたちへの影響があるから」、「② 地域と学校の関係が希薄になるから」を選んで
います。



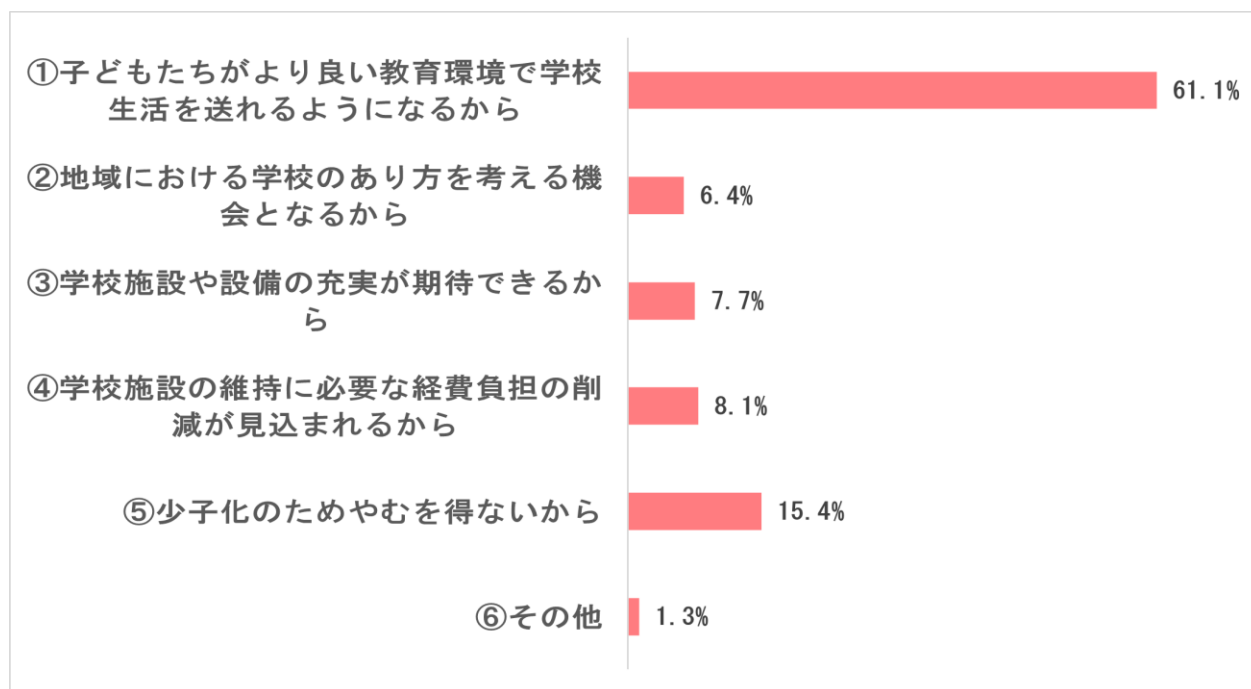
「⑤ その他」の主な回答

- ・最重要となるきめ細かな教育の徹底をはかる上で、小規模校は最適。
- ・通学距離がかなり遠くなる子供が出てくる。低学年の子は心配。朝早く起きることになるので睡眠の心配。気温の高い時期は熱中症。冬は暗くなるのも早い。季節を問わず、通学時に犯罪に巻き込まれる危険性は高まる。複数学級のメリットは分かるが、単学級のメリットもある。学校全員が、顔見知り。少人数で授業が受けられる。ただ、先生の数が少ないので、増やすと良い。
- ・一律に決めるべきではない。地域の実情を聞くべき。子どもが通いやすい近いところに行くことと、地域主体で他の実情を考え合わせる事が必要。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んだ方が最も多く、とても高い割合となっています。



「⑥ その他」の主な回答

- ・学年の学級数が最低でも2クラスはあった方がいいと思うから。
- ・子どものために、仲間がたくさんいる環境が、必要だとおもうから。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」が1人、「⑤ 進めるべきではない」は2人います。3人とも「⑤ その他」を選んでいきます。

「⑤ その他」の回答

- ・高森台の小学校は、2校とも登校の距離が程良い為
- ・人口が徐々に減ってきているが、回復させてから適正規模配置を検討すべき。行政はまだ、やっていない。何か行ったことがあったら教えてください。
- ・通学距離の遠さ

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「① 子どもたちがデジタル機器を使用した最先端の授業を受けることができること」の順で選ばれています。



「⑩ その他」の主な回答

- ・専門性の高い教師が、一人一人を大切にしたクラス経営、授業展開ができること。少人数学級、教師の多忙化の解消。
- ・デジタル機器に頼りすぎない授業。
- ・マニュアル通りの昔からの椅子に座っての授業より、グループワークを増やし、ひとりひとりが意見を出して話し合う授業をふやしてほしい。自分を意見をしっかり持って言える子どもたちになってほしい。
- ・教員の指導力向上。
- ・通学児童生徒のためのスクールバスの運行。

自由記載(学校の規模や配置を見直すことについて、その他ご意見がありましたら、ご記載ください。)

※いただいたご意見は、各中学校区別のアンケート結果に全て記載しておりますので、そちらをご参照ください。

◆中学校区別 意見数

(件)

	学校教育について	通学について	学校設備について	地域について	その他	合計
坂下中学校区	9	10	2	2	10	33
藤山台中学校区	9	7	0	0	3	19
高森台中学校区	15	11	2	3	9	40
石尾台中学校区	25	23	2	5	5	60
岩成台中学校区	6	10	3	0	5	24
合計	64	61	9	10	32	176

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp